

浦山ダム貯水池における臭気物質への対応について

浦山ダムでは、プランクトンの発生状況等について監視・分析等を継続的に実施しています。

7月1日に貯水池内（3箇所）及びダム放水地点で採水を行い、分析を行った結果、貯水池内からカビ臭の原因物質であるジェオスミンを確認しました。ダム放水地点では確認されませんでした。

ジェオスミンの濃度は貯水池の表層付近で高いことから、深い位置から取った水を放流し、極力、ダムよりカビ臭の原因物質を流さないような対応を実施しております。

今後も、これまでと同様に、水質監視を継続し、プランクトンの発生状況及び臭気状況把握に努めるとともに関係機関との連絡を密にまいります。

調査結果については、ホームページで公表しています。

<http://www.water.go.jp/kanto/arakawa/>

平成21年 7月 9日

独立行政法人 水資源機構
荒川ダム総合管理所

配布記者クラブ
秩父記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所

第二管理課長 はりまこういち 播磨光一

TEL 0494-23-1431（代表）